



## PRESS RELEASE

2017/11/02

株式会社トランストロン

### クラウド型ネットワーク運行支援サービス「ITP-WebService V2」が

### MCPC award 2017 特別賞を受賞

株式会社トランストロン（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：大岡 信一）の提供する「ITP-WebService V2」が、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) の主催する「MCPC award 2017」のサービス&ソリューション部門において「特別賞」を受賞いたしました。

「MCPC award」はモバイルコンピューティング推進コンソーシアムが 2003 年より開催している、モバイルシステムの導入により IoT/M2M 分野での「業務効率化」、「業績向上」、「顧客満足度向上」、「社会貢献の推進」、「先進的なモバイル活用」等の成果を上げた事例に対し贈られるもので、本年の「MCPC award 2017」は 15 回目の開催となります。

#### 【クラウド型ネットワーク運行支援サービス ITP-WebService V2】

ITP-WebService V2 は、当社が 2010 年より提供している完全クラウド型の運行支援サービスで、富士通クラウド型デジタルタコグラフから速度、時間、距離等のデータを 3G/LTE 回線経由で受信し、リアルタイムな車両の運行管理、動態把握を可能としています。

従来のカード型デジタルタコグラフでは、運行情報の確認には車両が帰庫した後のカード読み取り処理が必要で、リアルタイムな運行管理が行えない課題があり、近年、運送事業者様に要求されている高度な効率化への対応が難しくなっていました。また、日々更新される地図データや、法令への対応のためにソフトウェアの更新が必要となるなど、日々の運用が煩雑となりがちな課題もありました。

ITP-WebService V2 では、クラウド型のサービスとしたことで、高度なリアルタイム運行管理を実現し、また、利用者側でのソフトウェア更新、保守などのシステム管理の負担をなくし、1 台からの柔軟な導入を可能としています。

さらに、クラウド型サービスならではの機能として、ビッグデータに基づく情報分析を行っており、富士通クラウド型デジタルタコグラフ搭載車の急ブレーキ情報から一般乗用車とは傾向が異なる商用車の急ブレーキ多発地点を特定し警告する「急ブレーキ多発マップ機能」を商用車向けとして業界で初めて実現しました。

ITP-WebService は、現在 10 万台の導入実績があり、24 時間 365 日対応のコールセンターや代替機の現地交換作業など、充実したサポートを含め、安心してご利用頂くためサービスを随時拡充しております。

当社は今後も、ITP-WebService と富士通クラウド型デジタルタコグラフにより、運送事業者様のみならず、車両を利用する様々な業種の業務課題解決をサポートしてまいります。

#### ※株式会社トランストロンについて

株式会社トランストロンは、「輸送技術とエレクトロニクスの融合」による新技術の開発を目的に富士通株式会社といすゞ自動車株式会社により、1990年に設立されました。

設立以来、自動車関連の分野に特化して制御・通信技術を蓄積し、「環境」「安全」「情報」をキーワードに (1) ディーゼルエンジン制御、(2) 車両制御、(3) 車載情報機器をコアビジネスとして事業を展開しております。

<http://www.transtron.com>

お問い合わせ先

株式会社トランストロン 情報サービス事業推進部

電話:045-476-4652

<http://www.transtron.com/contact/>